

甲南Today

甲友のリレーションで、

未来を紡ぐ

No. 26
2006 DEC.

甲南Today No.26

2006年12月27日発行 [発行] 甲南学園広報部 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1 TEL 078-431-4341 (代)



特集 | **受け継がれる
甲南スピリッツ!!**

鳩杖

夏休みの終わりはいつもわびしく／山岳部の夏山の記憶も急に遠ざかって／

登校の足取りも鈍りがち／校庭のイチヨウが黄ばみだして／中間試験が終わると／

暮れるに早い夕まぐれ／放課後残って文化祭の準備／展示の相談さっぱり進まず／

焼き芋ピーナツが減るばかり／結局未来都市かせ相箱／趣味の展示は模型鉄道／

玄人はだしの絵画班／滴定させるは化学班／フェノールフタレインで色変わり／

物理班はウィルソン霧箱／古い機械に素粒子が通る／生物班はカエルの発生／

なんだか不思議な処女生殖／世界の岡田の若き日だった／ESSはシェイクスピア／

ドイツ語クラブはファウスト／もっともらしく聞こえたりふ／女役もちろん男子／

スカーフかぶって茶色の毛糸／さまにならぬは先刻承知／大道具が早くも壊れる／

衣装が合わぬ組もある／創作劇は小松左京の作品／筋はさっぱり分からぬままに／

どんだん話が進んで／とにかく最後はみんな狂って幕となる／

割当てられたは開幕の弁／全員発狂で芝居中止／羽織袴で中央より登場／

やおら壇に立つが／けっこうやってきた女学生／

最前列は全員女子／一瞬おいて大笑い／演劇班はさすがに本物／

悠々演じる「商船テナシテイ」／拍手はしばし鳴りやまなかった。

※岡田節人(ときんど)氏。1947年旧制甲南高等学校理科卒業、

現在、J-T生命誌研究館館長・京都大学名誉教授。



中井 久夫 先生／神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。平成16年3月に甲南大学を退職、4月より「兵庫県こころのケアセンター」所長に就任。『精神医学の経験』全8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。



▲摂津祭展示準備 (1968年頃)



▲摂津祭キャンプファイアー (1967年頃)



「恩賜の杖」(鳩杖・はとづえ)：鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生鈺三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫先生に当時の様子を書き下ろしていただいています。



インターネットで甲南へ <http://www.konan-u.ac.jp>

特集 02 受け継がれる 甲南スピリッツ!!

WHAT'S NEW KONAN 06 第42回摂津祭開催

甲南学園同窓会、甲南大学同窓会が
総会および、塩川正太郎氏特別講演会を開催
甲南大学OG古我知 晶さんが国際的機関で活躍
シンポジウム「武智歌舞伎と、その時代」開催



07 トウレーヌ甲南学園だより
2007年4月1日、「フランス甲南学園
トウレーヌ高等部・中等部」に名称変更
「トウレーヌ、日本の秋」にトウレーヌ甲南学園が参加しました

08 Pick up 高・中 Topics
09 OBワークショップが開催されました



11 研究室訪問 陸上を通じて人と社会を見る

13 追跡! 甲南21クリエイティブ・プラン
その後の進展をレポート!

15 こちら甲南特捜部 キャンパス内でよく利用する お気に入りの場所は?

17 クラブ活動あの日、あのとき
鉄道研究部



18 現役学生クラブ・サークル活動レポート
ACTIVITY KONAN
柔道部・児童福祉研究会



19 第一線で活躍中の卒業生にアクセス! IT'S KONAN STYLE 10年間のドイツ修業が今の礎

20 甲南学園の歴史と文化をつくった人々
坂口昌一・角谷静夫
21 「学園創立90周年記念事業募金」のおしらせ
23 甲南フォーラム

甲南学園の建学の精神は「個性を尊重し、自主自立の精神を養う」ことにあります。建学の精神を受け継ぐ伝統行事のひとつ「甲南キャンプ」のスタッフと参加者が集い、前田忠弘学生部長を交えて、甲南大生に脈々と受け継がれている甲南スピリッツについて語り合いました。(※対談中の敬称は省略しています)

1964年に始まった 伝統行事 甲南キャンプ

前田 今年の甲南キャンプ実施委員長の田村さんをはじめ、チューターの有馬さん、スタッフの池田さん、キャンプに参加した1年生の松浦さん、藤原さん、塚本さん、そして自治会を代表して、奥中央委員会執行部委員長に集まっていたとき、甲南キャンプでできることや甲南キャンプを通じて体得した甲南スピリッツについて語り合いたいと思います。その前に、奥委員長に甲南キャンプの意義と目的について語っていただきます。

奥 甲南キャンプは1964年に始まりました。記録によると、「甲南大学の学生たちに建学の精神を認識し、有意義な大学生活を送るためのきっかけとなる催し」との機運が高まり、1年生と2年生を対象としたイベントとして、初回から毎年開催し、甲南大学の伝統行事になっています。
前田 甲南キャンプ開始当初は、学生部が主催し、教員も参加していました。私が在学していた頃は1970年代で、この頃、学生が主体となって開催するようになったと記憶しています。
田村 先生方が参加しなくなったのは、いつ頃なのですか?

前田 1997年のことです。恐らく、学生たちが自分たち自身で甲南キャンプを運営したいという意欲が高まったからではないでしょうか。甲南キャンプの企画や実施に取り組むことで、建学の精神である自主自立の精神が根付いたといえるでしょうね。
田村 先生が参加されたときの甲南キャンプは、どのような内容だったのですか?



田村さん

受け継がれる 甲南スピリッツ!!

建学の精神を
伝える
甲南キャンプ

前田 私が現役学生だったときは、社ポーターという所に宿泊し、教員と学生、あるいは学生同士が膝を交えて夜通し、さまざまなテーマでディスカッションをしました。懇親会などもあり、とても楽しかったという記憶があります。1969年の記録には、当時の学生部長が「まず語り始めること。語り合うことで自らの思考と視野を広げること」と甲南キャンパスの意義を記しています。当時は、まさにこの意義を表現していたといえます。

表紙の絵●西井義晃 画
「学生会館」
西井義晃さんプロフィール
1961年 甲南大学経済学部卒業 元自由美術会員
次のURLで作品集をご覧ください。
<http://webgarou.net>



甲南キャンプは 交友関係を広げる 絶好のチャンス



実施委員ら
上級生の
誘いをかけた
綱引き

田村 このあたりで、皆さんが1年生の時に甲南キャンプに参加したきっかけと感想を教えてください。

松浦 では、私からお話しをさせていただきます。私は、入学してすぐの頃、2年生の

方から勧誘され記録写真を見せてもらったところ、とても楽しそうだったので、すぐに申し込みました。新しい友だちがほしかったので1人で参加しました。

藤原 私も入学してすぐの頃、1日も早く友だちをつくりたいと思って参加しました。

塚本 私も同じです。1人で参加するにはとても勇気がいりましたが、。

前田 そうでしょうね(笑)。でも、参加して、たくさん友だちができた。

塚本 はい。友だちができただけでなく、甲南キャンプの日が私の誕生日で、参加した300人の人たち全員から「おめでとう」と言っていただけで、とても感動しました。

前田 素晴らしい体験をしましたね。2年生のお二人はどうでしたか？

有馬 私は、入学式のときに甲南キャンプの資料を見て、友だちと一緒に参加しようと思いました。念願の大学生になったのだから、



左・塚本さん

何事にも積極的に取り組もうと決めていたからです。参加したら想像以上に友だちがたくさんでき、行ってよかったと思いました。

池田 私は、1年生のときは参加しませんでした。友だちが参加して帰ってきたら、たくさんの人と友だちになっ

ていて羨ましくなり、2年生になってスタッフとして参加しました。



右・池田さん

甲南キャンプを通じて 知った素晴らしい 甲南の伝統



前田学生部長

前田 1年生の人たちは、甲南キャンプに参加して友だちがたくさんできたようですね。近年の甲南キャンプの目的は、「1年生に友だちづくりの機会を提供する」ということになっています。そういった意味から、甲南キャンプの目的は達成しているといえますね。では、実施する立場である2年生の意見を聞いてみましょう。まず、1年生を引率するチューターを担当した2年生の有馬さんと池田さん、意見を聞かせてください。

有馬 スタッフは12月頃から活動を始め、春休み頃になると週に1回イベントの細かい内容などについて会議をします。日程が

迫ると会議の回数も増え、朝から夜遅くまで会議が続くこともあり、精神的にも体力的にも辛いこともありました。

池田 最初の頃の会議は皆の意見がバラバラで、「本当にこんな会議を繰り返して甲南キャンプが成功するのか」と疑問に思うこともありましたが、でも、会議を重ねる内に次第に形になってきて、皆でつこのを作り上げる素晴らしさを経験したと思います。キャンプ当日は、事故のないように気も遣いましたが、辛い思いやしんどい思いをした分、喜びもひとしおで、無事に終わったときは感激で胸がいっぱいになりました。

前田 良い経験をしましたね。

有馬 私も池田さんと同じです。

私の姿を見た1年生が、「次は自分がスタッフになりたい」と思ってもらえるように振る舞いました。



有馬さん



写真左より
池田恵利さん
文学部2年
甲南キャンプ
実施委員

有馬一斗さん
経営学部2年
甲南キャンプ
実施委員長

奥 大地さん
経済学部3年
自治会中央委員会
執行部委員長

田村昌史さん
経済学部3年
前甲南キャンプ
実施委員長

前田忠弘教授
甲南大学学生部長
法学部教授
1976年甲南大学法学部卒業

塚本善昭さん
経営学部1年

藤原早紀さん
経営学部1年

松浦國泰さん
経済学部1年

自分らしく 自分の道を歩く。 それが甲南スピリッツ

前田 有馬さんと池田さんの意見を聞いて、1年生の諸君はどのような感想を持ちましたか？

松浦 今年の甲南キャンプでは、運動会で騎馬戦をしたり、ダンスパーティーでダンスを楽しんだりしました。企画を立てて実行する先輩たちの苦労があったからこそ、思い出深いものになったんだと、改めて思いました。

藤原 私たちのために先輩がいると考えると、考えてくださっていたことがわかりました。

私はキャンファイアーの後で、キャンドルを持って皆で歌を歌ったことが心に残っています。今思い出しても胸が熱くなります。

塚本 先輩が後輩のために精一杯力を出すという大切さを知りました。次は、私たちが



藤原さん

スタッフになって、1年生に伝えてゆきたいと思ひ、スタッフの面接を受けました。

松浦 私もスタッフの面接を受けました。甲南大学には先輩が後輩をいたわり、育てる伝統があると思います。

藤原 私は甲南キャンプを通じて、人思いやる気持ちを大切にして、行動することの大切さを知りました。私も来年はスタッフになり、後輩にこの伝統を受け継いでいきたいと思っています。



松浦さん

前田 先輩の皆さんは、甲南スピリッツとはどのようなことだと思いますか？

有馬 今、彼等の感想を聞いて嬉しくて胸がいっぱいです。私は甲南大学が大好きで、授業がなくてもキャンパスに毎日来たいです。キャンパスには甲南キャンプを通じて知り合った大切な友だちがたくさんいるからです。私にとって甲南スピリッツとは愛校心です。

田村 私は後輩だけでなく他者のために

力を尽くすことが甲南スピリッツだと思っています。そして、在学生全員がこの伝統を次の世代に受け渡して行く義務があると思います。

奥 皆が一丸となって甲南キャンプを受け継いで行くなかで、甲南の伝統を他者へと伝えて行く。感じるだけでなく、伝えるということが大切なのだと思います。

前田 創立者の平生三郎先生は、建学の精神を「個性を尊重し、自主自立の精神を養う」と記されています。私は、この建学の精神を、自分らしく自分の道を歩くことと解釈しています。皆さんが甲南キャンプを通じて感じた甲南スピリッツは表現こそ異なりますが、同じことを言っていると感じます。甲南大学の学生たちには、建学の精神がしっかり宿っていることを実感しました。来年の甲南キャンプも素晴らしいものになりたいですね。

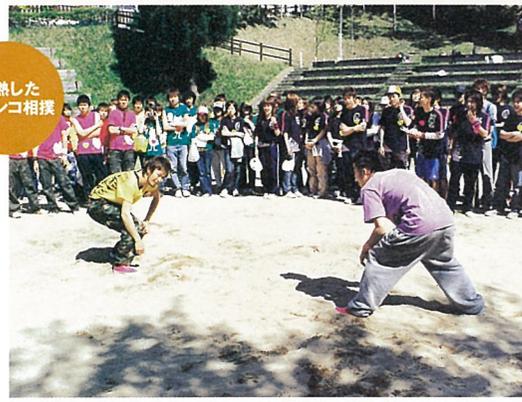


奥さん

甲南キャンプ42年間の歩み

甲南キャンプが始まったのは1964年のこと。きっかけは、「大学生としての自覚を持ち、大学生活を有意義に過ごすにはどのようにすべきか」を学生自身が見直す必要があるという機運がキャンパスに生まれたことに端を発します。発祥当初は学生部が主催で、目的は「建学の精神と教育理念について自得、理解する。大学生活の意義と目標について自覚と反省を持つ。

課外活動をどのように行うべきであるか」といったことを皆で語り合い、理解を深めることにありました。時代は流れ、1974年、主催は学生部から自治会中央委員会へと移行。1997年からは教員は参加せず、学生だけの参加となりました。1987年頃からキャンプの目的は、友人づくりとキャンプを学生自身の手で作り上げる過程で、さまざまな経験を積むことに重きをおき、ダンスパーティーや運動会なども行うようになりました。



白熱した
ガチンコ相撲

Since 1964

お揃いの
Tシャツで
ハイポーズ!





巨大な佐世保バーガーのオブジェ!

▲「旅愛好会」は、九州の名産品、名所を研究、発表、佐世保バーガーの巨大なオブジェも展示、



▲3号館前ではDJブースが設けられ、摂津祭の催し物を賑やかにPRしました。



▲体育館では子どもたちを対象としたゲームを開催。会場には明るい笑い声が響きました。

▼「文化会茶華道料理部道心会」が、華やかなモダンフラワーアレンジメントで来場者を魅了。



▲正門前のテントでは、来場者をスムーズに誘導、久しぶりに来校するOB、OGに挨拶をする在学生の姿も見られました。

受付で先輩に再会、感謝する人も!



第42回 摂津祭開催

今年のテーマは「祭」。大学祭のあり方と催し物の意義を再確認!

2006年度の「摂津祭」が、11月22日(水)から26日(日)の5日間、わたって開催され、たくさんの来場者で大いに賑わいました。

今年のテーマは「祭」。この

テーマは、「大学祭のあり方や、催し物の意義を再確認して原点を大切に、参加する人ももちろん摂津祭実施委員の誰もが楽しめる大学祭にしたい」との思いが込められています。「この日を最高の日にしたい」との実施委員会の願いが伝わり、キャンパス内は、学生はもちろん、「ご父母の方々をはじめ、たくさん地域の皆様で賑わいました。毎年話題となるプロコンサート、今年は、映画「ブレイブストーリー」の主題歌や「等身大のラブソング」が大ヒットを招きました。アリーナ、スタンド席とも超満員となり、実力派バンドの圧倒的な存在感に会場内は熱気の渦と化しました。

26日には講堂兼体育館で「音楽祭」を開催。ジャズ研究会、吹奏楽部などが見事な演奏を披露しました。「長い伝統のある学園祭だからこそ初心に返ろう」と、「祭」というテーマを取り組んだ今年度の大学祭は、例年以上に充実し、大成功の内に幕を閉じました。

「チームワークの良さが自慢!」という模擬店のタコ焼きチーム。「安くて美味しいよ!」との掛け声に、たくさんの人が集まった。

一方、キャンパスに設けた「学生ステージ」では、学生たちが次々と趣向を凝らしたゲーム大会などのミニイベントや寸劇などを、8号館や10号館では軽音楽部やフォークソング同好会などがバンド演奏を披露。武道系クラブの技を披露する「演舞祭」や演劇、能楽、歌舞伎を披露する「演劇祭」、各教室で文化会所属クラブなどが日頃の研究

甲南スピリッツを伝えるその他の取り組み

甲南大学には、甲南キャンパスだけでなく、甲南スピリッツを伝えるさまざまな伝統行事があります。ここでは体育会と文化会の取り組みとして、「リーダーズキャンプ」と「フレッシュマンキャンプ」「フレッシュマンハイキング」を取りあげ、責任者の皆さんに聞きました。

体育会フレッシュマンキャンプ

自分の意見を持ち、行動する大切さを知る

体育会では、新入部員を歓迎するための「フレッシュマンキャンプ」を毎年7月に開催しています。「フレッシュマンキャンプ」は1泊2日の日程で、約300人が参加し、スポーツのカテゴリや部相互の壁を超えて部員同士の交流を図ることを目的としています。キャンプ当日は、講演会や班別討議、懇親会を行い、このような催しを通じて、甲南大学の体育会員としての士気を高めます。さらに自覚を促し、体育会を盛り上げて行くために積極的に意見を出し、行動する甲南の精神を伝えています。



●新井稔史さん(経営学部3年) 体育会本部副委員長

体育会リーダーズキャンプ

期待に応えるために 全力を尽くす スピリッツを育む

体育会所属クラブの将、主務など幹部を招いて開催する「リーダーズキャンプ」は、1963年に始まりました。体育会を盛り上げて行くための意見交換や討議に重きを置いて、1泊2日で開催します。甲南大学の体育会はOB、OGからの支援も多く、期待に応えて勝ち抜くことができる強い体育会にするためにも、一丸となって集う場が求められます。討議では真剣に意見を戦わせ、懇親会では誰とでも仲良くというのが「リーダーズキャンプ」の理念です。この伝統行事に参加することで「期待に応えるために全力を尽くす」という甲南スピリッツが育まれます。



●上田達也さん(法学部3年) 体育会リーダーズキャンプ委員長

文化会フレッシュマンハイキング

助け合いの精神と後輩をいたわることの大切さを知る

文化会の新入部員歓迎と各部の交流のための伝統行事として、毎年6月に「フレッシュマンハイキング」を開催しています。内容は甲南森林公園へのハイキングで、新入部員と先輩部員の約200人が参加します。各クラブが協力し合い、新入部員を歓迎するにはどうすればいいかを話し合い、アイデアを出し合っています。例えば、今年は、ハイキングの途中で「大なわ跳び」や「水かけ合戦」「バレーボール大会」などのミニイベントを実施しました。この行事を通じて、助け合いと後輩をいたわる甲南スピリッツを伝えています。



●田中直積さん(経営学部3年) 文化会常任委員会庶務局長

文化会リーダーズキャンプ

文化部員としての 自覚を持ち、後輩を育てる スピリッツを育む

「リーダーズキャンプ」は、1963年に始まった伝統行事で、文化会の執行部員が参加し、後輩を育て、いかに文化会を盛り立てて行くかを討議するための取り組みです。体育会と違って勝敗がないクラブが多いため、クラブ活動本来の目的を確認するための場としても大切な行事となっています。今年は2泊3日で、三重県で開催しました。準備のために会議を重ね、当日は事故のないように細心の注意を払っています。この行事に参加することで文化会員としての自覚を持ち、助け合うことや先輩を育てることの大切さを知ることができます。



●田中直積さん(経営学部3年) 文化会常任委員会庶務局長



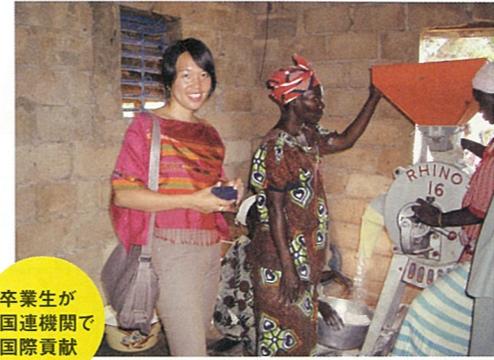
甲南学園同窓会、 甲南大学同窓会が総会 および、塩川正十郎氏 特別講演会を開催



塩川氏来校!

晩秋の爽やかな晴天に恵まれた11月23日(木・祝)、甲南大学511号講義室にて、2006年度の甲南学園同窓会、大学同窓会の総会が開催されました。たくさんさんのOB、OGが参加されるこの総会は、午前10時30分からは「全国甲南会」を、午後2時からは「総会」として「2005年度の決算、事業、監査報告」にはじまり、「2006年度予算、事業計画、幹事改選」など、重要事項に関する報告や討議を行いました。午後3時からは、元財務大臣で、現在、東洋大学総長を務める塩川正十郎氏を招いての特別講演会を開催しました。大阪府出身の塩川氏は、「大阪に住んでいた私にとって甲南大学は品格がある大学で、憧れの存在でした。長年の憧れの甲

南大学で講演をさせていただくことになるとは思ってもいませんでした」と壇上から和やかな笑顔で語りました。講演のテーマは「新内閣の使命について」。小泉内閣が果たした役目と、その意志を継ぎ、新たに誕生した安倍内閣が果たすべき使命と、時代が求める内閣のあり方について独自の見解を分かりやすく語りました。ユーモアを交えながら語る塩川氏の講演に大きくうなずく参加者の姿も見られ、大盛況となりました。特別講演会の後は、「カフェ・バンセ」にて、毎年恒例の懇親会を開催。ドリンクを片手に再会を懐かしみ語り合う方々の姿が見られ、和やかな一日となりました。



卒業生が
国連機関で
国際貢献

2000年に甲南大学文学部英文学科を卒業した古我知晶(こがちあき)さんは、現在、国連の「国連ボランティア計画」から「UNDP国連開発計画」ブルキナファソオフィスに派遣され、環境問題の専門家としてアフリカで活躍しています。甲南大学在学中に、英語とフランス語をマスターした古我知さんは、立命館大学大学院に進学し、国連組織の「国連ボランティア計画」のインターンシップ生に選ばれ、現在の職務に就任。環境問題のなかでも気候変動に関するプロジェクト

甲南大学OG 古我知 晶さんが 国際的機関で活躍

リーダーとして活躍しています。「環境問題に国境はないと言われます。北の国により引き起こされ、地球規模で加速する温暖化現象は最貧国ブルキナファソの種(人口85%の収入源が農業、サハラ大地に危機をもたらしています。UNDPブルキナファソでは環境分野を重要課題の一つとしてとらえ、現在、15のプロジェクトが行われています。甲南大学で学んだことを大切に、今後も国際協力の分野で貢献を続けることができたいと思います。」(古我知晶さん)

シンポジウム 「武智歌舞伎と、その時代」開催



武智歌舞伎の
シンポジウム
開催

甲南学園の卒業生で、歌舞伎や演劇界で評論活動や演出、映画監督など幅広い活動を行い、高い評価を得ている武智鉄二氏(1932年・旧制甲南高等学校卒業)、独自の世界観を追究、表現し、歌舞伎界においては「武智歌舞伎」として、特に高い評価を得ています。11月25日(土)、甲友会館大ホールにおいて、毎年、関西の歌舞伎や演劇の興隆

を目指して開催されている「上方ルネッサンス楽劇の祭典」の2006年度のオーピングセレモニーを「武智歌舞伎と、その時代」とし、コーディネーターに関西文学編集長の河内厚郎氏を迎え、演劇評論家の権藤芳一氏、武智鉄二氏の三男である武智節造氏、甲南学園広報部長の土山敏夫氏をパネリストとして、シンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、権藤氏が「歌舞伎界での武智鉄二氏の存在と偉業」を、武智氏は父親としての武智像を、土山広報部長は、甲南学園在学中に執筆した作品の紹介や武智氏の人柄および、現在、古典芸能で活躍している卒業生を紹介しました。河内氏のコーディネートにより、シンポジウムは白熱し、古典原作を尊重しながら、民族性を踏まえて日本の芸能の本質を探ろうとしていた武智鉄二氏の偉業や武智歌舞伎の歴史的意義などについて大いに語り合いました。

2007年4月1日、 フランス甲南学園トゥレーヌ 高等部・中等部「になります」

甲南学園が設立母体となつて、1991年に設立されたトゥレーヌ甲南学園は、設立以来、海外に居住する日本人子女をはじめ、留学経験のある国際人を育てるための在外教育機関として、数多くの卒業生を世に送り出して来ました。同学園の生徒たちは、日常の勉学はもちろん、ボランティア活動などにも活発に取り組み、その教育成果は大いに注目を集めています。

まず、学校名の変更は、教育改革の第一歩を示すもので、新しい名称は、「フランス甲南学園トゥレーヌ高等部・中等部」となります。学校名に所在地を謳つことで、改めて在外教育機関としての存在意義を表明し、新たな魅力の創造に取り組むことを打ち出します。名称変更は、2007年4月1日を予定しています。トゥレーヌ甲南学園が取り組む教育改革により、新しい時代をリードする人材が世界に羽ばたく日は近いことでしょう。

「トゥレーヌ、日本の秋」に トゥレーヌ甲南学園が参加しました。

2006年10月28日から12月22日まで、トゥレーヌ甲南学園があるサンシールの隣、トゥール市で「トゥレーヌ日本の秋」というイベントが行われました。このイベントは、在仏日本大使館、トゥール市役所が後援し、期間中様々な場所で日本文化を紹介するという催しです。今回のこのイベントに、トゥレーヌ甲南学園の生徒たちが日



本の文化を伝える催しに参加、貢献しました。イベントに来ていたフランス人たちは本校生徒との交流を通して、日本に対する興味を深めていました。また、このイベントを通じて、現地でのトゥレーヌ甲南学園への注目度はますます高まりました。主催者側からも、本校の参加に対して、多くの感謝の言葉をいただいています。

先日、トゥール市内の図書館で書道・折り紙のアトリエを開いた際、参加したフランス人小学生の会話が印象的でした。「日本語って変な形してるんだな」「何を言うてるんだよ。日本人にとっては、フランス語だって変なんだよ。違いがあるということさ」10歳の子供がこのような点に気づいていることは、とても素晴らしいことです。4月に入学した生徒たちも、言葉の壁を乗り越え、一生懸命勉強に課外活動に取り組んでいます。さまざまな機会を通じて、人として成長する要素をたくさん吸収できるのも、本校の特色の一つです。

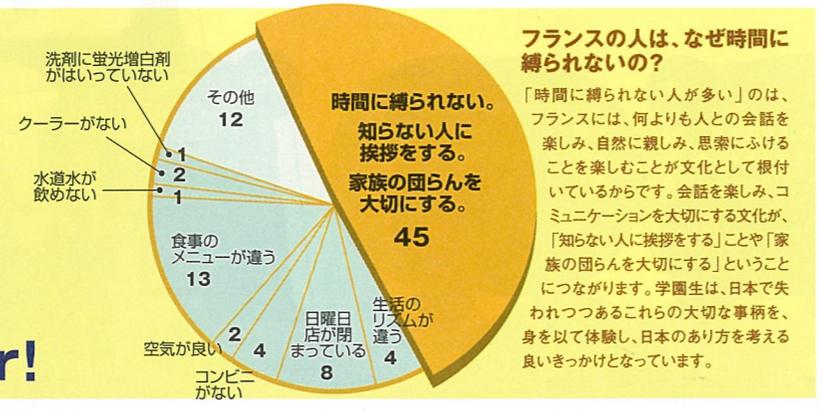


< 参加イベント一覧 >

- 11月13日(月)~15日(水) トゥール市立図書館 書道・折り紙アトリエ (小学生対象)
- 11月18日(土) LA MULONIER 日本文化祭 書道、折り紙、茶道、和太鼓 TOURS マンガ討論会
- 11月22日(水)~12月22日(金) トゥール市立図書館 書道・折り紙作品展
- 11月25日(土)~12月6日(水) サンシール市 ロワール地方をマンガで描く展覧会
- 11月29日(水) トゥレーヌ甲南学園で 茶道と書道と折り紙をする会

日本とフランス の暮らしで、 大きな違いを 感じることは? [アンケート回答者84人]

日本とはまったく違う文化を持つフランスにあるトゥレーヌ甲南学園で留学生生活を送っている高、中生に、「日本とフランスの暮らしの中で、大きな違いを感じることは?」というアンケートを行った結果、右のような回答が返ってきました。(複数回答有り)



フランスの人は、なぜ時間に 縛られないの?

「時間に縛られない人が多い」のは、フランスには、何よりも人との会話を楽しみ、自然に親しみ、思索にふけることを楽しむことが文化として根付いているからです。会話を楽しみ、コミュニケーションを大切にすることが、「知らない人に挨拶をする」ということにつながります。学園生は、日本で失われつつあるこれらの大切な事柄を、身を以て体験し、日本のあり方を考える良いきっかけとなっています。

トゥレーヌからBonjour!

O B ワークショップが 開催されました!

先輩たちから学び なりたい自分を発見!

今年度より、弁護士や医師をはじめ、建設会社、テレビ局など各分野で活躍されているOBを招き、中学3年生を対象とした「OBワークショップ」が開催されることになりました。これは中学3年生で行う「情報活用」の授業とタイアップして行っています。1学期でなりたい職業のポスターを作り、2学期には、1学期で実施した職業適性検査の結果を踏まえ、興味のある職業について調べて発表。3学期で1、2学期に参加したワークショップの感想を踏まえて総合的にまとめるというものです。ワークショップ開催にあたり、グループごとに2名の生徒を司会者として選出。生徒たちからOBにどんな質問をしたいかなどアンケートを行い、ワークショップでの質疑応答に役立てています。6月と11月に行われた模様を報告します。

6月17日(土)

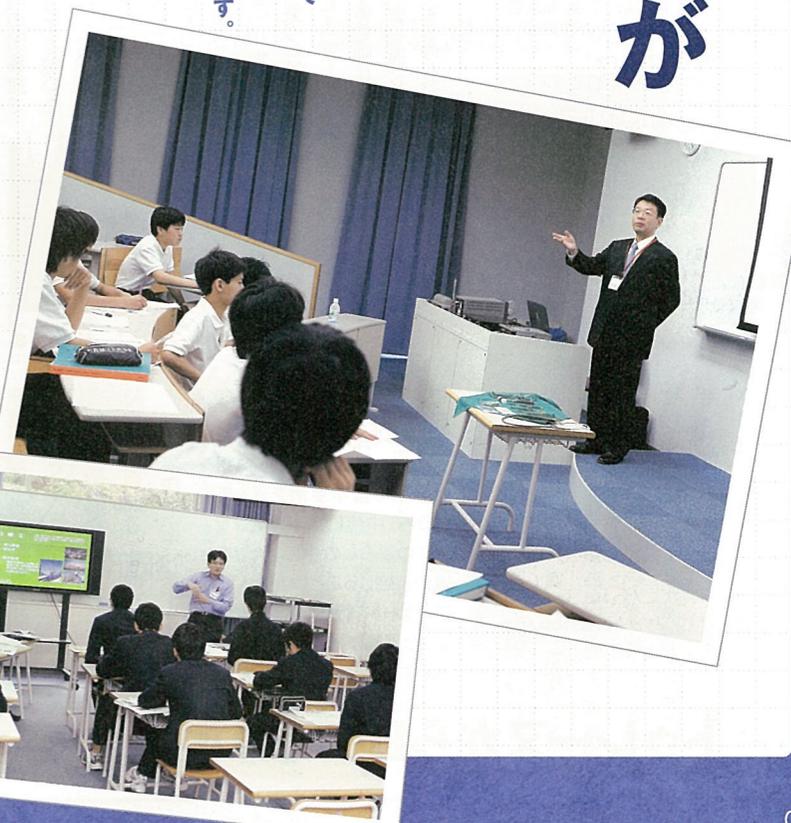
第1回目は、まず橋口校長が「先輩の話聞いて、自己発見につなげてほしい」と挨拶。その後、生徒たちはグループ毎に、希望の講演を聞きました。いくつか紹介すると、朝日放送の三村晃久さんは、学生時代の留学の経験から、世界を見ることの必要さを訴えます。建設会社である銭高組を背負う銭高久善さんは、ビルや街などスケールの大きなモノづくりの醍醐味を。生徒から「本校の建設費はいくらぐらいだと思いますか?」と質問され、苦笑いしながら的確な数字を言い当て、拍手喝采。大林組の福地睦浩さんは、生徒を車座に座らせて中高時代の友だちとのつながりの深さや大切さを、三井住友銀行梅田法人営業第1部に勤務される古川勝也さんは、一般的にイメージする銀行とは違う側面から、銀行とさまざまな企業との関わり

11月18日(土)

第2回目はOB、生徒ともリラックスムードでスタート。初参加となった三井住友銀行の磯部和男さんは、複雑な法人部門の銀行業務をかみ砕いて説明。注目のIT企業からは、日本IBMの秦正剛さんが参加。「世界中の人々30万人も働く当社は、日本以上にルールが厳格」と話します。阪急ホテルマネジメントの長野孝治さんは、アメリカンフットボールの社会人リーグにも所属され、「最高のチームワークはクラブだけでなく、仕事にも生かされる」と。生徒に最も年齢が近かった山本東矢さんは、小学校の先生。「自分は帰国子女として入学したので、漢字が書けず勉強もできなかった。だけど、教師になりたくてがんばった」と語りました。今回、2回目の参加となった弁護士の山下英久さんは、実際の事件を例にとり、裁判の流れをわかりやすく

を分かりやすく説明。老舗料亭「船場吉兆」の経営者、湯木喜久郎さんは、商売の難しさと料理づくりの楽しさを話しました。また、サントリーグループの外食・開発を担当される田中政明さんは、まず親会社のサントリー株式会社について、プロジェクトを使って説明。「外食産業の企画や開発を中心に行っているが、企画・調査、インテリアデザイナー、ワインソムリエなど数多い業界、職種の方々と交流があり、働く喜びや生きがいを感じる」と語りました。こうして1時間半におよぶ講演会が終了。閉会式ではOBを代表して、兵庫県立芦屋高等学校の高木応光先生が、「私は高校でラグビー部の監督もしているが、勝利の前にジェントルマンになれと言っている。君たちも世界に通用するジェントルマンになつてほしい」とエールを送りました。

説明。最後に弁護士になるには、社会の不正を正すという、強い意志を持つてほしいと話しました。同じく、2回目となった萩家整形外科医院の萩家康弘さんは、プロジェクトを使い、レーザーによる最新式の「シミとり」や「傷跡の治療」について専門的に解説。生徒の興味を引きつけました。みなさん、日本を代表する企業や職業に就いておられるのに、膝を交えて気軽に話せるのもワークショップならでは。講演後、OBを代表して難波徹さんが「〇〇でなければならぬ」という時代は終わった。人を見た目で判断せず、個性を認め合わなければならぬ。自信を持って自分の決めた道を進んでほしい」と挨拶されました。素晴らしい先輩を持った生徒たちの顔は、誇りに満ちていました。



P

I

C

K

U

P

OBの方々

()内は卒業生

- 三村晃久 (77) 朝日放送株式会社 テレビ営業部長
- 福地睦浩 (79) 株式会社大林組 神戸支店営業部
- 山下英久 (79) 小松法律特許事務所弁護士
- 湯木喜久郎 (81) 株式会社船場吉兆
- 萩家康弘 (81) 萩家整形外科医院医師
- 秦正剛 (85) 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 磯部和男 (87) 株式会社三井住友銀行 コーポレートアドバイザー本部
- 長野孝治 (88) 株式会社阪急ホテルマネジメント
- 銭高久善 (92) 株式会社銭高組取締役 常務役員
- 近藤康之 (93) 不二熱学工業株式会社 常務取締役
- 古川勝也 (93) 株式会社三井住友銀行 梅田法人営業第1部
- 山本東矢 (97) 大阪市立日吉小学校教員
- 高木応光 (64) 兵庫県立芦屋高等学校教員
- 難波 徹 (75) なんばとおるプロテニスチーム1975 (エッセンス株式会社代表取締役社長)
- 田中政明 (77) サントリー株式会社 外食・開発カンパニー「ミューブラン ニングオペレーターズ」専務取締役

素晴らしい先輩たちから学ぼう

本校のOBは人材が豊富で、幅広いネットワークがあります。それを生かして、中高の希望者を対象に、年に1、2回のOB講演会をやっていました。今回、中高6カ年の一貫教育をより充実させるための改革の一つとしてキャリア教育を行うことになり、その取り組みとして中学3年生全員を対象とした「OBワークショップ」を開催することにしました。

目的は、OBを通して、学校の外の社会にふれさせることにあります。今やっている勉強が将来の人生にどう影響するのか、それがどのように社会とつながっているのかを感じさせます。講師となるOBは、業種が重ならないように人選、仕事の内容、苦労話から学生時代のことまで自由に語っていただきます。2回目はぜひぶんとOBも生徒たちもリラックスしているようで、いろいろな先輩たちの話を聞く機会を設けるといっても含めて、年に2回行うことの意義は大きいです。仕事の選択だけでなく、将来の目標をしっかり持ち、今をどう生きるかを考えてもらいたい。また、学校生活の悩みなども、先輩たちと膝を交えて話しあえる機会にしてほしいですね。甲南の宝は素晴らしいOBの方々なのでから。



吉沢郁生先生 / 教育研究部

甲南 高・中モノ知り
生徒手帳
vol.5
「夜間照明設備が
できました」
今年の秋に、大グラウンドと
テニスコートに夜間照明設備が
完成しました。これは夜間練習
用ではなく危険防止のためで、
午後7時に消灯して部活動は終
了しています。

11月
パソコンが大好き。IBMの秦さんの話を聞いて、IT関係の仕事に興味があった。
甲南中学校3年 貴田大史君

11月
苦勞して学校の先生になった山本さんの話から、自分もがんばれると思った。
甲南中学校3年 曾和優君

11月
アメフトの社会人リーグに所属する長野さんに、チームワークの大切さを学んだ。
甲南中学校3年 平野翔大君

6月
夢はチェリスト。料理は人を魅了させるという湯木さんの話に共通点を感じた。
甲南中学校3年 明石太郎君

6月
弁護士の山下さんの話を聞いて、弁護士だけでなく裁判官や検察官の仕事にも興味があった。
甲南中学校3年 中西耕平君

6月
不二熱学工業の近藤さんは、ビニールハウスの再利用を話され興味深かった。
甲南中学校3年 高橋佑基君

研究室訪問

先生、知の最前線を教えてください!



スポーツ・健康科学教育研究センター
伊東 浩司 助教
いとう こうじ

1970年神戸市生まれ。神戸市立鶴台中学で陸上競技を始める。'92年バルセロナオリンピックから3大会連続で日本代表。'98年のバンコク・アジア大会で100M10秒00のアジア新記録を樹立。'01年に選手生活にピリオドを打ち、'01年より甲南大学専任講師に就任。'05年に助教となる。

黒人選手に勝つには 独自性の確立が必要

陸上競技の1000M種目では、9秒77の世界記録を持つアサファ・パウエル選手をはじめ、歴代記録のトップ10を黒人選手が占める。そんな中、世界と戦ってきた伊東先生は、黒人選手と日本人との違いをこう分析する。「短距離種目は、いかに楽をして速く

走るのが重要なのです。当然、黒人と日本人は筋肉も骨格も違います。たとえば彼らは、歩幅も大きく、軽やかに伸びやかに、柔らかに走ります。片や、比較的手足の短い日本人選手は、一生懸命力を入れて、速いピッチで走る。それが、黒人選手と日本の選手の違いだと思います」

「一般的に指導される、膝を高く上げて大きく足を回す走り方は、黒人選手や欧米の人の走り方なんです。でも、その走り方が体型も骨格も違う日本人に合っているかは分からないわけです」そこで選手時代に、膝を高く上げず、大きく蹴らず、足が地面に接地すると振り子のように素早くスイングして前へ持つてくるだけの「すり足走法」

を習得した。「大きなストライドで足を回転させる走り方では、一步一步で黒人選手と差がついてしまう。私は、グイグイと前に行きたかったんで、このような走り方に行き着いたんです」現在、1000Mや2000Mで活躍する末續慎吾選手は、古武術の理論を応用し、通常の動きとは逆に手足を前後同じ方向に振る「なんば走法」

陸上を通じ 人と社会を見る

を取り入れている。世界で戦う際には、「常識」に疑問を持ち、オリジナリティの確立が重要だ。

「日本人と一言で言っても、体格はそれぞれです。試行錯誤する中で、自分にあつたベストを突き詰める。結果が出れば、それが理論になる。先に理論を求めるのではなく、理論は後からついてくればいいんです」

陸上1000Mの結果は、 80%がメンタルに 左右される

海外の選手との身体的な違いや走法の違いから、工夫の重要性を説く伊東先生。その一方で、精神面の鍛錬も重要だと語る。

「1000M走は、80%が精神面での戦い。そこで勝負が決まるメンタルゲームといえます。陸上は、他のスポーツと違って走るだけですから忍耐の連続ですよ(笑)。忍耐のためには心、精神力が大事です。少しでも迷いや落ち込みがあると、ウォーミングアップもきちんと行えず、怪我や事故にもつながります。迷いや落ち込みは心の怪我だと思つたのですが、心を怪我していると、準備段階から負けているのです」

監督をしている甲南大学陸上競技部女子部での指導でも、精神面の育成を重視している。

「大学時代は、選手としても人間としても完成形に至る大切な時期。女子部員には専門知識や理論を教えながら、自ら工夫して取り組む意識、物事の分別やマナーを身につけさせるよう

心がけています」

精神面を重視するのは、伊東先生自身の経験も大きい。大学時代は陸上競技界のトップ選手が集まる東海大学陸上競技部に所属し、4年生で世界選手権東京大会に出場する一方、インカレには怪我のため不出場。その浮き沈みの激しさの原因が、精神面にあると考えているのだ。

「東海大学陸上競技部は部員の多いマンモスクラブです。高校までのように、先生に『教えてもらおう』という意識だと、簡単に周囲に流されてしまふ。しかし、3、4年生になって、コーチの話を自分

自身がどのように理解するかが大切なんだと分かり、競技への取り組みの意識が変わったことで、結果も変わってきました」

当時、気付いた自立・自律の精神は、アスリートとしても社会人としても重要な要素と考えている。

生涯スポーツの 環境づくりが急務

サッカーに比べ、陸上競技人口の低下が懸念されている昨今。ただ、「甲南アスレチッククラブ(AC)」で、小・中学生へスポーツの楽しさを伝えている伊東先生は、独自の見解を持つ。

「ACには100名強の小・中学生がいますし、世間で言われるほどの危機感はないですね。子供たちからは走りたい、体を動かしたいという純粋な気持ちを感じます。非常勤で甲南中学の体育を教えている中で、最も目を輝かせていたのは、タイムを計った時でした。友達や自分の記録を抜くことが楽しいですね」健全な競争意識があれば、競技への

向上心が生まれる。それはスポーツへの根源的な意欲だ。また、幼少の頃からスポーツに親しみ、楽しさを体験することで人生をより豊かにする「生涯スポーツ」への意識向上にもつながる。

「ただ、問題なのは、全天候走路の陸上競技場の数が少ないことですね。神戸市近郊では、王子スタジアムくらいですか。施設がないと、きちんと触れる機会そのものが少なくなり、そこが問題だと思えます」

施設の不備を懸念するのは、生涯スポーツは、競技者以外の人も含めた社会的な概念であるからだ。

「ACの活動でも、甲南大学陸上競技部の女子部員が手伝ったり、保護者の方々も一緒に参加したりしながら、楽しくやっています。スポーツを通して、関わる人全員がトータルで楽しめ、全員に利益がある生涯スポーツの場、そんなコミュニティを作ることを目指しています」

スポーツ文化の成熟のためにも、一層の環境の整備が求められる。

毎回、各学問分野の先生にご登場いただき、研究の最前線に触れる研究室訪問のコーナー。

今回は、陸上選手としてオリンピックに3大会連続で日本代表となった

スポーツ・健康科学教育研究センターの伊東浩司助教にご登場いただき、

選手時代や世界に勝つ方法、生涯スポーツまで幅広い話題について伺いました。

2 知の玉手箱

1 黒人選手以外で、 10秒00を記録した 選手は2名しかいない

1998年のバンコク・アジア大会の100M準決勝で、10秒00の記録を出した伊東先生。実は、このタイムは偉大な記録なのです。黒人選手以外ではポーランドのマリアン・ヴォロニン選手が1984年に記録して以来、2人目の快挙。当然、アジアでは現在も破られていない記録なのです。

2 選手たちが 自由に過ごせる オリンピックの選手村

オリンピックに出場する選手たちが宿泊する選手村は、まさに自由空間。公式スポンサーのハンバーガーショップや美容院、レジャー設備など、選手村の施設はすべて無料。競技に専念できる環境が整えられているのです。

3 陸上競技の中でも リレーは役得と 人気の高い種目!?

オリンピックでは通常、日程の最後に行われる陸上競技。中でも、マラソンとリレー競技決勝は最終日に行われます。スタジアムも独特の雰囲気にも包まれるリレー種目は、陸上選手の中でも人気の高い種目。他競技の選手が大会中に帰国する中、閉会式に参加できることも、陸上選手の役得だそうです。



10秒08のアジアタイ記録達成(1998年)

Student Associationプラン

Group Data ● Student Association プランチーム/人数：18名

大学の自治会をサポートし、甲南大生の主体性や誇りを養い、育みたいという思いで活動しております。ここ数ヶ月の主な活動としては「本棚の設置」「HPの制作」「サイエンスフィック研究会での発表」の3つが挙げられます。

「本棚の設置」は、EBAのフロアにブックスタンドを置き、EBA総合コースの学生に役立つ書籍を集めて、自由に使用できるようにしました。「HPの制作」はHP上で高校生からキャンパスライフやEBA総合コースに関する質問を受け付け、大学生の

大学生の生の声を伝えるために発表を行いました。



生の声で質問に答えるシステムを考えており、12月下旬には立ち上げます。富士通(株)が世話役をしている「サイエンスフィック研究会での発表」は、甲南大学情報教育研究センターと富士通が連携して、ウェブで学習情報を提供する「e-Learning」のシステム開発を行っているというつながりから、「大学生が求める学内ポータルサイトは？」というテーマで、発表をしてほしいという要請がありました。富士通の技術開発に携わっている社員の方をはじめ、大学教授が多数参加してくださり、大変興味深い内容だった。今後のソフト開発に活かしたい」



(EBA総合コース4年／塩川尚人さん、坂口功治さん談)

チームメンバーに研究発表を依頼しました

富士通株式会社文教ソリューション事業本部 赤澤佳子さん
IT先進国アメリカでの留学を経験している彼等が、学内ポータルサイトを立ち上げる活動をしていると聞き、発表をしてほしいと依頼しました。大学生の生の声を聞くことができ、参加者からは「目からウロコが落ちた」という感想が寄せられました。また、このような機会をつくりたいと思います。

バドミントンチームにおけるゲーム分析の役割 定着に向けて

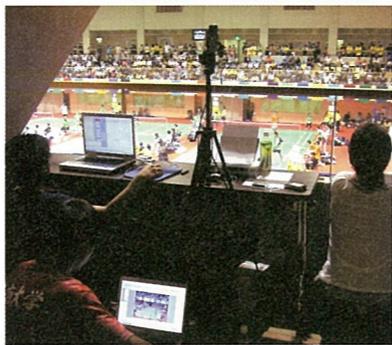
Group Data ● 体育会バドミントン部のゲーム分析チーム/人数：16名

チーム結成以来、日本のバドミントン競技において、質の高い環境でバドミントン選手を効率よく育成・強化するための一助となる「ゲーム分析」の普及に取り組んできました。今回、国体兵庫県チームのスカウティングに協力することができました。

甲南大学体育会バドミントン部長兼顧問の鶴木千加子先生が国体チームのスペシャリストアドバイザーをされていることもあり、「のじぎく兵庫国体」に出場する選手に対してのサポートをする機会をいただきました。

第一歩として、8月13日の国体選

国体出場チームの選手強化、育成に協力しました



手団の合宿に参加しました。成年男子選手を中心にゲーム分析をし、国体に向けて効果的なトレーニングを割り出すための情報を監督に報告しました。さらに、試合会場にも出向き、スカウティング(対戦相手の情報収集と分析)をしました。残念ながら、男子

は入賞することはできませんでしたが、ゲーム分析が、選手育成や強化に有効なものであることを知っていただくことができ、嬉しく思いました。

7月30日には神戸村野工業高校に訪問し、インターハイ出場を控えた選手に対してデータ収集と分析をして報告しました。また、合同練習に来ていた大分県の高校では、先生が映像を用いた指導をしておられると聞き、ゲーム分析を紹介して、情報交換もしました。今後は講習会を開き、また、さまざまなチームに積極的にコンタクトを取り、ゲーム分析を一人でも多くの人に知っていただく活動に積極的に取り組みたいです(理工学部4年/石井論規さん談)

国体選手強化、育成に「ゲーム分析」を使用しました

兵庫県成年男子チーム 木田英明監督
これまでの競技力向上の取り組みとしては、一般的に監督・コーチからの口頭を中心としたアドバイスとビデオなどによるものがほとんどでした。「ゲーム分析」は評価・分析をする素晴らしい道具だと思いましたが、使いこなせるスタッフが必要であることに加えて選手・コーチ・監督がどれだけ有効にデータを使えるかで効果は大きく違ってくると思います。

KONAN NAVI 学内唯一のポータルサイトを軸にした情報発信プロジェクト

Group Data ● 甲南ナビ/人数：12名

「情報発信でKONANをスマイルに」という理念で、ポータルサイトに「KONAN NAVI」での情報発信と交換を行い、甲南大学の活性化や発展、甲南大生の自覚を形成する取り組みを行っております。

これまでの活動を時系列で報告します。まず、7月30日、8月19日には、オープンキャンパスで、来校者からの質問を受け付けるブースを設置しました。2日間で約120人の高校生がブースにやって来て、受験勉強に関することやキャンパスライ

経営者塾開催、パソコン教室などさまざまな活動を行いました

フに関する質問を受けました。同時に、「KONAN NAVI」のPRチラシを配付し、ネット上での質問にも対応していることをPRしたところ、後日、多数のアクセスがありました。

10月30日には、株式会社アスクブランニングセンターの廣崎利洋社長(70経営卒)をお招きし、「第5回経営者塾」を開催しました。テーマは「10年後のあなたをプロデュースしよう」。80人の参加者があり、質疑応答も大いに盛り上がり、大盛況となり、「次回も期待しています」との意見が多数ありました。

さらに、11月末には、「甲南本通商店街」で、地域の方々を対象としたパソコン教室を開催しました。12月にも開催する予定です。このような活動を



サークル紹介に「KONAN NAVI」を使っています

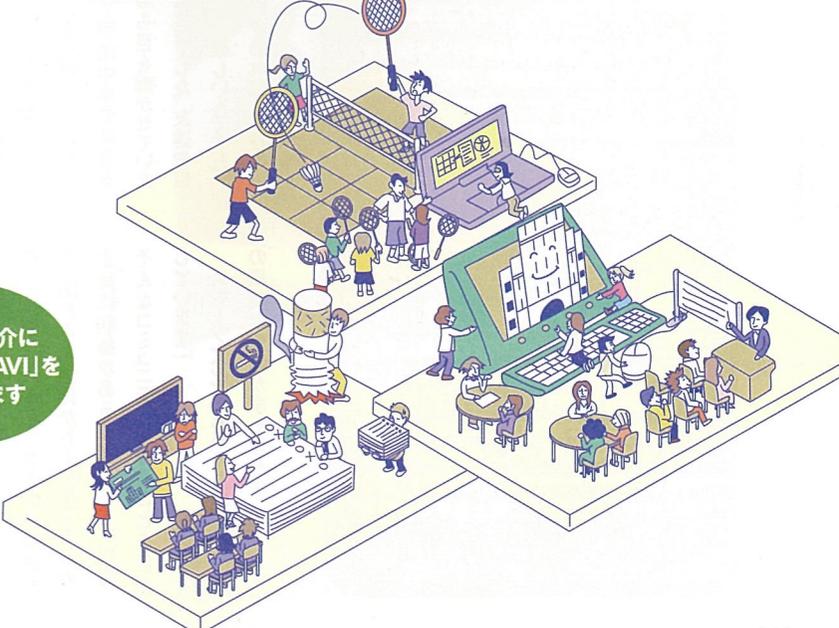
ダンスサークルZEALOT代表 坪田夢奈さん(文学部3年)
「甲南ナビ」の活動をしている後輩から「KONAN NAVI」のことを聞き、サークルの紹介やイベントのPRなどで利用しています。また、「経営者塾」にも参加していますが、経営者の方のお話を間近に聞くチャンスはなかなかないので、とても勉強になります。これからも頑張ってください!

甲南21クリエイティブ・プラン 追跡!! 採択されたプランを追跡、レポート!

3つのプラン。その後の進展をレポート!

第25号でご紹介した「甲南21クリエイティブ・プラン」に採択された「KONAN NAVI—学内唯一のポータルサイトを軸にした情報発信プロジェクト」「バドミントンチームにおけるゲーム分析の役割定着に向けて」「Student Associationプラン」の3件が、第25号発行以降、どのような進展があったのかを、追跡、レポートしました。

甲南21 クリエイティブ・プランって?
2001年4月にスタートした「甲南21クリエイティブ・プラン」は、大学開学50周年の記念事業として学生の活動企画に支援するための取り組みです。学生の活性化をはじめ、社会参加、地域社会への貢献活動を促すことを目的として、優秀なプランには表彰と助成金を支給しています。



😊 誌面作りに対する ご意見・ご感想

- 25号の「こちら甲南特捜部」で岡本周辺の記事を読み、久しぶりに岡本に行きたくなりました。(’01年卒・女)
- 「高・中トピックス」で、生徒たちの放課後の過ごし方や食堂での様子、クラブ活動の様子なども取材していただきたいと思っています。(ご父母)
- 25号の「KONAN MOVEMENT」を読み、今の甲南、将来の甲南の姿が感じられ、素晴らしいと思いました。期待しています。(’62年卒・男)
- 前号からカラフルになり、読みやすくて気に入っています。(’02年卒・女)
- 新しく就任された高、中の橋口校長先生のご挨拶に感銘を受けました。次代を担う高、中学生の育成に期待しています。(ご父母)
- 西宮北口にできる新しいキャンパス、楽しみです。完成したら見学に行きたいです。(ご父母)
- 「高・中トピックス」で臨海学舎の記事を読み、私が参加したときのことを思い出しました。(’88年卒・男)
- 海外で活躍されているOB・OGを紹介していただきたいと思います。(ご父母)
- 「甲南100年の計」実現に向けて協力したいと思います。(’02年卒・女)
- 研究室訪問は、いつも身近に起こりうる問題を専門家の立場から分かりやすく解説しており、勉強になります。これからも楽しみにしています。(ご父母)
- 「素敵な甲南人」で貴志康一さんの記事を読み、貴志さんが作曲された交響曲を聴いてみたいと思いました。そのような機会はないのでしょうか?(’72年卒・男)
- 25号で、OBで歌舞伎役者をされている方がいると知って驚きました。芸能界で活躍されている方を特集してみたいです。(’80年卒・女)

「甲南Today」をお読みになったご感想や、誌面づくりに関するご意見などを編集部までお寄せ下さい。お待ちしております。

食堂



食べる!しゃべる! 学生の集いの場!

●ランチタイムはここへ飛んできます!法学部3年男 ●カレーが大好き!理工学部1年男 ●2月から早くも美味しい「はやうまメニュー」ができました。気に入っています!文学部1年男 ●お昼は、友だちとここで待ち合わせることが多いかな!法学部2年女 ●丼メニューが大好き!天津飯も好き!経済学部3年男

安い!ボリュームたっぷり!美味しい!と3拍子揃った食堂は、キャンパスライフに欠かせない憩いの場。

サイバーライブラリ



書籍、新聞、DVD閲覧 などができる

「資料が豊富で静か。勉強するのに最適」という意見が多く、取材時も、皆さんしっかり勉強していました。

●毎日ここで勉強しています。資料も豊富だから勉強がはかどります!法学部3年男 ●資格取得を目指して勉強しています。ここは静かだからよく利用します!経営学部4年女 ●週に4日は来ます。1人でパソコンが使える場所が特に気に入っています!経済学部2年女 ●資格取得を目指して勉強しています!経済学部2年女



ラウンジ

読書と勉強、休憩にも最適!

●このイスの座り心地は最高です。勉強がはかどるだけでなく、疲れたら一休みもできるから気に入っています!文学部1年女 ●静かなので、休憩に最適!理工学部2年男 ●レポートを書くのにちょうど良い場所です!経済学部3年男 ●このイスが最高に座りやすい!リラックスできます!法学部1年男

1号館の3階のラウンジは静かな憩いの場。勉強や読書に利用している学生が多いようです。



一本松 (生協前)

待ち合わせの名所といえばここ

●ここで待ち合わせすることが多いです。そしてそのまま階段を上がって食堂へ行ったりします!文学部1年女 ●え?ここって一本松っていうんですか。知らなかった!でも、待ち合わせによく利用します!理工学部2年男 ●この階段で、座って話をするのにちょうど良いです。真冬は寒いけど(笑)!経済学部2年男

昔から待ち合わせ場所としてわかりやすいので、よく利用されています。

いちばんの
人気
スポット

カフェ・パンセ

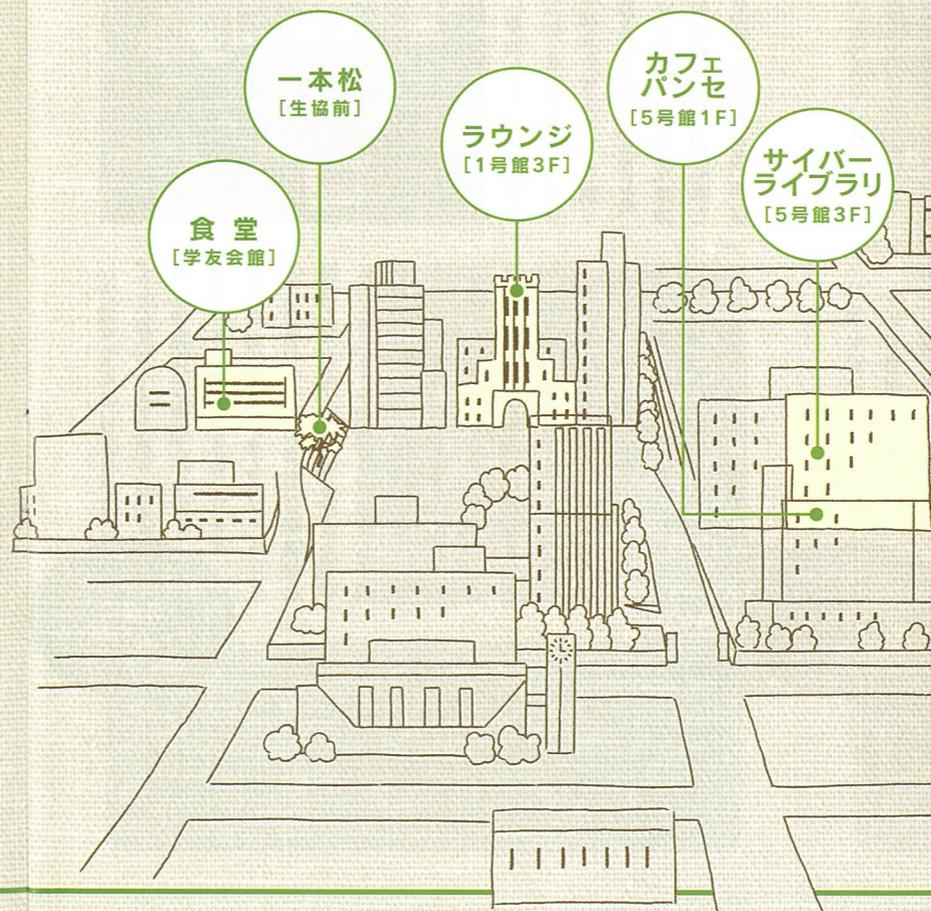


雰囲気がよくてオシャレ。 美味しくて 安いメニューが人気

甲南大学のキャンパス内で最も人気の高い場所として回答が多かったのが「カフェ・パンセ」。休み時間や放課後に、ティータイムを楽しみながらおしゃべりをを楽しむ学生たちの姿がみられます。早速、くつろいでいる人たちにインタビューしてみました。

●人気の場所だから、ここにいると友だちに必ず会える!法学部2年女 ●ランチはカフェ丼がオススメ!美味しくて安い!経済学部3年男 ●メニューが良いし、雰囲気も抜群。毎日来ている!理工学部3年男 ●ここで、意外に勉強がはかどります!文学部1年女 ●キレイ。メニューが良い。店員さんが感じ良い!経済学部2年女

メニューはすべてリーガロイヤルホテルが提供しています。特に人気のメニューは「アフタヌーンセット」。スコーンとドリンクで280円!



キャンパス内で よく利用する お気に入りの 場所は?

今回の
調査依頼

甲南Today編集室に、「キャンパス内で学生に人気の場所を教えてください」という依頼が届きました。そこで、甲南21クリエイティブ・プランに採択された「甲南ナビ」チームにアンケート調査を依頼。回答の中から、人気の高かった5カ所に突撃取材を行いました。

現役学生のクラブ・サークル活動レポート



柔道部の部室は六甲アイランド体育館にあり、練習も六甲アイランド体育館で行っています。現在、部員は26人で、男子は22人、女子が4人です。練習日程は朝練が週2回、夕方からは週6日です。朝練では走り込み、夕方からはウエイトトレーニングと技の習得に重きを置いています。昨年まで、顧問の先生の提案で、地域にある中学校の足が不自由な生徒の朝の送迎をボランティアで行っていました。部員が順番に校門で待機して、背負って教室まで引きました。生徒からも喜んでもらえて嬉しかったです。その生徒が中学校を卒業したので、そのボランティア活動は終了したのですが、部員たちはボランティア活動を通じて、人に喜んでもらうことの喜びを知りました。また、4年に1度、部員全員参加で海外遠征があることも柔道部の自慢です。2年前はフランスとオランダへ行きました。次の遠征先は決まっていますが、部員たち全員心待ちにして、日々の練習に打ち込んでいます。

柔道部
海外遠征を心待ちにして練習に励んでいます



保西良太さん 法学部3年
奥谷晴加さん 法学部1年

2006年12月10日に実施された、「兵庫県学生体重別選手権」の「男子73キロ級」では保西良太さんが優勝を飾りました。また、「女子無差別級」で奥谷晴加さんが優勝を勝ち取りました。

Club Data
創部・1953年
部員数・26人

Club Data
創部・1961年
部員数・17人

文化会児童福祉研究会は、子どもたちがのびのびと成長するための遊びとは何かを考え、実際に小学校に訪問して遊びの場を提供することに取り組んでいます。

今年度の摂津祭では、優秀な展示を行った文化会に与えられる「展示実施委員会賞」を受賞しました。今年の展示のテーマは、子どもたちに人気の「スーパーマリオ」。展示室の壁面を、海、陸、空、クッパ城の4つに分けて、目先が変わるように工夫しました。準備には2ヵ月ほどかかり、摂津祭の1週間前には夜遅くまでかかって教室を装飾しました。特に人気のあったコーナーは、展示室の中央に設置したクラフトコーナーと展示室前のキノコハウスです。キノコハウスの前で記念写真を撮る人も多く、とても賑わっていました。

クラフトコーナーには、手作りの風車や飛び出すカードを展示して、手にとって遊べるようにしたところ、子どもたちだけでなく大人の方にも喜んでいただけました。これからも子どもたちが求める遊びを研究して、提案していきたいです。

児童福祉研究会

摂津祭で展示実施委員会賞を受賞しました

大野由起子さん 文学部3年
元山貴允さん 理工学部3年



クラフトコーナーは大好評!



▲機関誌「TABLET」



▲大学祭の展示の前で('06年11月23日撮影)

Club Data 創部：1960
部員数：5人

- 1960 鉄道研究会として発足
- 1962 機関誌「TABLET」1001号(創刊号)発行
- 1964 開業前の東海道新幹線に試乗
文化祭参加 テーマ「東海道線の歩み」
「通勤型新型電車」
- 1965 新部室獲得(アメリカ研究会と同居)
文化会加入
- 1967 部内誌「信号ムシ」創刊号発行
- 1973 文化賞
- 1976 部に昇格 鉄道研究部に改称
- 1982 摂津祭 テーマ「京福電車」で学生部長杯展示部門優秀賞受賞
- 1983 常任委員会賞
- 1987 同窓会文化賞
- 1990 創部30周年の記念列車運転(JR神戸～長浜 往復)
- 1991 学友団体協議会賞
- 1993 監査委員会賞
- 1995 学友団体協議会賞
- 1996 常任委員会賞
- 1998 学生部長杯
- 2000 神戸電鉄にて40周年記念貨切列車運転
- 2002 監査委員会賞
- 2003 監査委員会賞
- 2004 監査委員会賞
- 2005 監査倉庫の移動により単独部室となる

取材に出席された方／六車昌弘さん('63年卒)、木谷幸一郎さん('64年卒)、松本繁さん('71年卒)、田中栄治郎さん('72年卒)、松本崇さん('72年卒)、田路敬子さん('76年卒)、田路和男さん('77年卒)、新田明郎さん('79年卒)、河合利幸さん('81年卒)、大谷千加良さん('98年卒)、松本浩さん('04年卒)、大前秀之さん('05年卒)、竹上裕宏さん、木下史教さん、藤本統弘さん(各4年生) 茂田滋さん(2年生)

夢満載のローカル線『甲南鉄道』がいく



鉄道が大好きな仲間の集まりが創部のきっかけだった鉄道研究部。60年に「鉄道同好会」としてスタート。「最初は部室もなく、週1回教室に集まって、好きな鉄道の話ばかりしていた。電車模型運転会を皮切りに本格的な活動が始まり、国鉄の営業促進や運転取り扱い心得などの勉強もした」と話すのは、発足メンバーの六車昌弘さん('63年卒)。その甲斐あって、川崎重工で蒸気機関車を見学したり、軽井沢の碓氷峠では、電気機関車ED42形の運転席にも入れてもらえたそう。だ。「3人程度しか入れない操縦室に、部員8、9人が乗り込んでワイワイガヤガヤ。今では考えられない」と木谷幸一郎さん('64年卒)。合宿を兼ねた年1、2回の鉄道旅行では、蒸気機関車を追いかけて、西鉄の若松機関区まで乗り込んだという。

部活は、鉄道に乗る「乗り鉄」「撮影」「模型」など班が作られ、活動の型ができてくる。創部以来、男所帯だった「鉄研」に、女性が入ったのは'66年のこと。女性が入部したこと、活動に拍車がかかった。

そんななか、70年代に入ると、機関誌「TABLET」の発行や、大学祭での研究発表も大切な活動の一つとなった。新幹線の功罪がテーマの時は、環境への影響や社会問題も積極的に取り上げた。情報収集は毎回一筋

縄ではいかない。「新幹線の騒音や振動について、大山崎の住民に意見を聞きに回った」と松本繁さん('71年卒)。「夏休みの半分はバイト、半分は旅行。当時1万円稼げば、夜行列車や周遊券を利用して1ヶ月近く各地を回れた」と松本崇さん('72年卒)。「赤子ローカル線廃止がテーマの時は、沿線の村役場で住民と座談会まで行った」と田中栄治郎さん('72年卒)は話す。鉄道を通している人々と関わっていくなか、そんな苦労もいつのまにか楽しみになった。

田路敬子さん('76年卒)は「カメラ片手に線路の上を歩いたことが最高の思い出」と懐かしむ。「70年代に入ると世の中、D・51ブーム。部員も約40人の大所帯となり、'76年によいよ部に昇格。」

「一般人は入れない鉄道管理局や電車区を見学できた」と話すのは、田路和男さん('77年卒)。「'90年10月28日には創部30周年を記念して、JRの神戸～長浜区間を「甲南大鉄研30周年記念号」を走らせることができた。参加者はOB、現役、家族、友人を含め、160余名にものぼった。」

「部員全員が、仲良しという伝統は、鉄道が好きという共通のおもいがあったから」と言うOB会長の田中さんの言葉に、現役生たちも大きくうなずく。



▲'90年に走った「甲南大鉄研30周年記念号」

創部50周年を目前に永遠なる存続を誓う

しかし、「震災の混乱で鉄道関係の本や資料を紛失。部員も減少し始めた」と大谷千加良さん('98年卒)。廃部の危機を救ったのが、松本浩さん('04年卒)たちの入部だった。「少ない部員で、鉄研を自立させるため、活動を大学祭の研究展示にしぼり、学内の優秀なクラブに与えられる「監査委員会賞」を3回続けて取った」と話す。クラブ存続のために少ない人数でPR誌を作った大前秀之さん('05年卒)たち。彼らの熱き思いは、竹上裕宏さんや木下史教さん、藤本統弘さん(各4年生)ら現役生に受け継がれている。様に「厳しい上下の区別はなく、和気あいあいとした雰囲気も創部時のまま」と話す。「先輩方の時代に比べ、今は目立った活動ができていませんが、後3年で創部50周年。伝統ある鉄研が存続できるように、がんばりたい」と、次世代を託された2年生の茂田滋さんは誓った。



▲最初の活動は「電車模型運転会」だった。('60年6月29日撮影)



【鉄道研究部】

線路のようにな長くと続け

昭和のSLブーム時は総勢40名近い大所帯に

創部50周年を目前に永遠なる存続を誓う

甲南学園の歴史と文化をつくった人々

素敵な甲南人

大正8年創立の甲南学園。その初期は、理科系の分野で日本を代表する実績を挙げた優秀な学者、医学者らを多く輩出しています。今回は、研究内容が海外から注目された物理学者の坂田昌一と、数学の角谷静夫を紹介します。尚、今回の掲載において、浜田邦夫さん(1953年甲南高等学校、1957年甲南大学経済学部卒)に取材協力を得ました。

坂田昌一

明治44年1月18日生まれ。昭和4年(第4回)甲南高等学校理科卒。昭和45年没。



大正12年甲南小学校卒業。その年、7年制高校が開校した甲南尋常科に進学、高等科は理科。当時からエンゲルスの『自然弁証法』に親しみ、科学方法論に強い関心を持ち続けながら京都大学に進学。4年先輩の湯川秀樹、朝永振一郎と同じ原子核・素粒子の理論的研究をされました。大学卒業後も湯川らの研究に協力するため大阪大学へ。その時期、湯川が「ノーベル賞」受賞対象の論文を発表しています。昭和17年、坂田が発表した「二中間子論」は、後の素粒子複合及び統一模型の提唱とともに、現在の素粒子標準模型の骨格を与え、物理学の考え方の流れを変えたもので、世界的に極めて高い評価を受けました。その後は、死去されるまで名古屋大学教授。日本学術会議では、創設以来の選出会員。基礎科学の将来計画や原子力三原則の確立に尽力されました。



◀ 前列左から湯川秀樹氏、朝永振一郎氏、小林稔氏。後に坂田昌一氏。(写真：名古屋大学大学院 理学研究科物理学教室・坂田記念史料室所蔵)

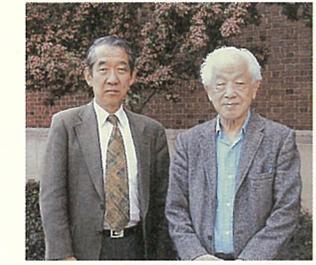
角谷静夫

明治44年8月28日生まれ。昭和6年(第6回)甲南高等学校文科卒。平成16年没。

若き日の角谷氏。▶ 1940年撮影



幼時から母子家庭。遠縁者から「平生教育」の良さを聞き、甲南へ。文科卒で数学者になった特異な存在。当時、有数の強豪だったラグビー部員でありながら、英語、数学が得意で、部員が「英語の読み方や文法を教えて」と頼むので、別のクラスの教科書も持ち、教えていたり、休み時間は、一人図書室で数学の専門書を広げていました。ある日、外国人女性教師が授業中に文科生徒をバカにするので、円周率を暗唱で数十ケタまで言い放って、その教師を黙らせてしまったという語り草もあります。東北大学数学科卒業後、大阪大学助教授。湯川秀樹らが困っていた数式を軽々と解いたエピソードも。昭和15年、米国プリンストン高等学術研究所に招かれ、位相解析、関数論、確立課程論の分野で独創的な結果を出して、世界的評価を得ました。日米開戦で一時帰国。空襲の時は遠縁者宅で論文を抱いて右往左往していたという話もあります。戦後の昭和23年、プリンストン大学が真っ先に呼び戻したので、日本人の「頭脳流出」第1号と言われ、翌年、エール大学教授に就任。後、名誉教授。日本学士院恩賜賞、勲一等生存者叙勲各受賞。生前、甲南大学へ研究資料を寄贈されています。また、米国で権威運動先駆者と言われ、娘のミチコ・カクタニは、NYタイムズ紙の有名な辛口評論記者です。



◀ 1999年アメリカにて(右:角谷静夫氏) (写真提供：浜田邦夫さん)

松村歌子さん
[98年 法学部卒業]
関西福祉科学
大学 教員

浜田在人さん
[96年 法学部卒業]
浜田在人税理士
事務所

植村浩史さん
[96年 法学部卒業]
入船株式会社

松村一成さん
[96年 法学部卒業]
関西学院司法研究科
大学院生

久利さんの
甲友録

3年働いた後に、国立ミュンヘン眼鏡学校マイスター学校に入学(2003年)してからは、月曜から金曜までずっと授業。しかも半年に一度足切りがあるので、仲間と励まし合って一生懸命勉強しました。でも、2年後(2005年)にマイスター試験に合格した時は、どういっわけか意外と冷静でした。今思うと、甲南の自由な校風で学



眼鏡学校で検眼研修(2005年)

んだことは役立ちましたね。海外の人は日本のことを聞くのですが、法

学部で学んだことを話してきました。眼鏡の世界でも、日本の職人は自分の納得いく物を作るスタンスですが、ドイツでは技術のほか経営や教育など幅広い知識が必要です。ただ、私はドイツで学んだ技術をそのまま日本に取り入れようとは思いません。日本に合うようにアレンジして、その人に最も合う眼鏡を提供していきたいですね。

Profile

甲南中学・高校を経て1996年に甲南大学法学部を卒業後、単身渡独。眼鏡店での修業と眼鏡職業学校を経て、2003年に国立ミュンヘン眼鏡学校マイスター学校に入学。2005年7月にドイツ政府公認のマイスター資格を取得。現在は三宮の「マイスター大学堂」で培った技術を活かしている。

久利将輝

Vol.26
アウゲン・オプティカー・マイスター
Kuri Masateru
[1992年甲南高・1996年法学部卒業]



第一線で活躍する卒業生に、ご自身の生き方についておうかがいするこのコーナー。
今回は、日本人として2人目となる眼鏡職人の最高峰・ドイツの眼鏡マイスター資格を取得した久利将輝さんにインタビュー。10年にわたる修業時代のご苦労や仕事への思い、甲南時代の思い出などを語っていただきました。

叔父への憧れから 単身ドイツ修業
昨年の7月にドイツの国家公認眼鏡士試験に合格し、現在は家業の「マイスター大学堂」で働いています。この資格は、26年前に私の叔父と同じ資格を取ろうと思った父が日本人で初めて取得し、当時は憧れのような気持ちがありました。でもその後、眼鏡の世界への思いは少し忘れていて(笑)。
甲南大学3年の就職活動の時期に眼鏡の道に進もうと本気で考え、叔父と同じ資格を取ろうと思った



最初の勤務先で同僚と(1999年)

です。そこから、塾に通ってドイツ語の勉強を始め、大学4年の時は3週間ほど現地(ドイツ)の下見にも行きました。
実は、私は中学から大学まで甲南育ちです。興味のある分野へ自由に進める雰囲気があったので、今思えば単身でドイツへ修業に行くという考えも甲南の校風が育んでくれたのかなと思います。また、甲南時代の仲間は今でも最も仲の良い友人ですし、ドイツ語を学んでいた塾の先生が、偶然、甲南のドイツ文学担当の黒崎勇先生(当時)だったり、深い縁を感じます。
ドイツでは、まずフライブルクという街のドイツ語学校で勉強しながら修業できる眼鏡店を探していました。しかし、半年経っても店が見つからないので、仕事の多いミュンヘンに移りました。ただ、簡単には見つからず、結局、最初の2年半はずっと語学の勉強をしました。そこで、「日本人が働ける眼鏡店を探してい

10年間のドイツ修業が今の礎

自分が動かないと助けてくれない
ドイツでは、店は雇った人を基礎職業学校に入学させる義務があるので、1カ月の間2週間は学校へ行き2週間は店で働く生活が3年続きました。知識や技術を学ぶのは面白かったですし、特に先輩マイスターから学ぶのは楽しい経験でした。当初はミュンヘンの人の訛りや眼鏡の専門用語が分からず、意思の疎通がうまく取れず、話の意味も分からないので質問もできない状態でした。ドイツでは、自分からアクションを起こさないと何もしてくれません。黙っていると、「黙っている人は存在がないか、理解しているかどうかだ」と言われるのです。ドイツの10年間で最も辛い時期でした。

寄付金に対する減免税措置について

【個人】

特定公益増進法人に対する寄付金として所得税の寄付金控除の措置を受けることができます。

$$\text{寄付金額} - 5,000\text{円} = \text{所得から控除される額 (年間総所得金額等の30%を限度)}$$

- ①所得税の寄付金控除の手続きは、寄付をした翌年の確定申告で行っていただくこととなります。
- ②確定申告には、金融機関の領収印のある「郵便振替払込金受領証(振込金(兼手数料)受領書)」と、ご入金後に学園から送付いたします「特定公益増進法人証明書(写)」が必要です。「特定公益増進法人証明書(写)」のお届けには、約10日程度要しますので、ご了承ください。

* 2009年(平成21年)7月5日まで特定公益増進法人であることの証明を文部科学省から受けており、当証明期間終了後も引き続き文部科学省に、同証明申請を予定しています。

【法人】

日本私立学校振興・共済事業団(以下「事業団」)の「受配者指定寄付金」となり、寄付金の全額を当該事業年度の損金に算入することができます。事業団への諸手続きは甲南学園が行います。

【受配者指定寄付金の流れ】



- ①ご入金いただきました寄付金は、本学園より一旦、事業団に入金します。
- ②事業団から「寄付金受領書」が本学園に発行され次第、寄付者にお送りいたします。
- ③損金算入手続きには、この「寄付金受領書」が必要となります。

* 「寄付金受領書」の発行には、事業団に送金後1ヵ月程度要しますので、決算でお急ぎの場合は、学園振興募金室にご相談ください。

寄付金控除により還付される税金の目安

(還付金額は目安ですので参考としてお取り扱いください。)

課税所得金額	500	600	700	800	900	1,000	1,500
寄付金額	還付金額*						
5	8,100	8,100	8,100	9,000	9,000	13,500	13,500
10	17,100	17,100	17,100	19,000	19,000	28,500	28,500
30	53,100	53,100	53,100	59,000	59,000	88,500	88,500
50	89,100	89,100	89,100	91,100	99,000	148,500	148,500
100	179,100	179,100	179,100	181,100	199,000	298,500	298,500
150	269,100	269,100	269,100	271,100	291,100	399,000	448,500

*課税所得金額とは、給与所得金額(給与収入金額一給与所得控除額)から基礎控除、社会保険料控除、配偶者控除、扶養控除、生命保険料控除、損害保険料控除等の合計額を控除した金額をいいます。所得税の税率は、平成18年4月1日現在の法令によります。

(単位：万円)

■ご注意

学園創立90周年記念事業募金では、次のような勧誘は行っていませんので、特にご注意ください。

- ①E-mailから募金を案内するWebサイトへ直接誘導(リンク)する勧誘
- ②甲南学園から直接の電話による勧誘

■募金に関するお問い合わせ先

甲南学園 学園振興募金室
〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1
TEL: 078-435-2323 (直通)

学園創立90周年記念事業募金は任意にお願いしております。

「学園創立90周年記念事業募金」の募金活動が始まりました

前号の「甲南TODAY」第25号にてお知らせいたしましたとおり、「学園創立90周年記念事業募金」が開始されました。申込み状況では、11月末日現在で約7千万円を超えるご寄付の申込みがございました。12月にも、多くの皆さまからお申込みをいただいております。まだまだ始まったばかりでございます。目標額10億円の達成に向けましては、「甲南」を愛する皆様のご芳志が是非とも必要でございます。卒業生の皆様のご温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学校種	件数	金額(単位:円)
保護者	106	4,569,000
卒業生	141	13,392,110
教職員	22	15,157,000
法人	13	43,220,000
団体	2	231,431
その他個人	4	1,120,000
総合計	288	77,689,541

学園創立90周年記念事業募金申込状況(平成18年11月30日現在)

「学園創立90周年記念事業募金」のHPが開設されました

http://www.konan-u.ac.jp/90th_anniversary/index.html



「学園創立90周年記念事業募金」のホームページが開設されました。甲南大学のトップページから閲覧できます。振込みの方法や、免税についての説明も掲載しておりますので、ご高覧くださいますようお願い申し上げます。

「学園創立90周年記念事業募金」の おしらせ



KONAN FORUM

2006年度 前期末卒業証書・学位記 授与式を行う

9月15日(金)、甲友会館大ホールにて2006年度前期末卒業証書・学位記授与式が行われ、文学部8名、理工学部21名(理学部2名を含む)、経済学部13名、法学部13名、経営学部17名、および大学院生2名、博士1名、修士1名に、卒業証書・学位記が授与されました。



体育会バスケットボール部が バスケットボールクリニック を開催

8月18日(金)、講堂兼体育館において、甲南大学体育会バスケットボール部・甲南学園バスケットボール部OB会による、バスケットボールクリニックが行われました。

講師としてプロバスケットボールプレイヤーでNBA入りを目指して、米国でプレーする森下雄一郎さんをお招きし、地元の中学校のバスケットボール部員相手にドリブルやシュートを指導しました。

本学は今年、東灘区と、相互が持つ人材や知識情報など資源を活用して協力することにより、人材育成と地域の活性化に寄与することを目的として協定を締結しました。その一環としてスポーツの振興及び発展を図るため、区内の中学バスケットボール部員を対象にクリニックを開催しました。

甲南大学にて東灘区児童館 ジャンボリーを開催

神戸市東灘区と甲南大学は、人材育成と地域活性化に寄与することを目的として、6月14日、「地域連携協力に関する協定」を締結しました。その一環として、8月26日(土)、本学の構内において、「東灘区児童館ジャンボリー(お祭りさわぎの意)」を開催しました。

本催しは、東灘区内児童館(9館)の子どもたち(小1〜3年)、学生ボランティア、保護者及び地域住民の方々が本学のキャンパス内に一堂に会し、子どもたちの情操を高めるとともに、子ども同士や地域同士が交流できる場となることを目的としており、参加者は当初、300名を予定していましたが、約600名に増えました。

まず、松本明東灘区長及び小山直樹学長補佐の挨拶があり、続いて、児童館ごとの発表会が行われ、見事な出し物が披露されました。その後、グラウンドでジャンボ

教育懇談会を開催

2006年度第2回目の教育懇談会を、10月29日(日)、中国・四国地区および九州地区に在住の父母を対象として開催。中国・四国地区では広島市のホテルグランヴィア広島にて、九州地区では博多市の博多シティホテルにて実施しました。

中国・四国地区では、学長挨拶、各学部紹介のあと、伊藤田隆俊キャリアセンター所長が「今年度の就職内定状況とキャリアセンターのサポートプログラム紹介」をテーマとした講演があり、引き続き、学修相談・学生生活・就職・留学について個別相談が行われ、担当の教職員がさまざまな質問に答えました。

また、同じ会場にて、教育懇談会終了後、一般の方や卒業生を対象として、文学部田中貴子教授を講師とする文化講演会(テーマ「稲生物性録と泉鏡花の草迷宮」)を開催し、参加者の皆さんから好評を博しました。なお、第3回目の教育懇談会は、12月3日(日)、東海地区に在住の父母を対象として名古屋市のホテルキャッスルプラザにて開催。

スポーツ・健康科学教育 研究センター講演会を実施

11月11日(土)、142号講義室において、田嶋幸三氏(日本サッカー協会専務理事・前技術委員長/日本サッカー協会S級指導者養成講習会講師)を講師に迎え、「世界を目指す日本サッカー」世界のトップ10を目指して、第2弾」をテーマに



ドッチボール大会を行うとともに、5号館内外で夏祭り(各児童館が出店・金魚すくい・木工工作・ボテアートなど)が行われました。参加した子どもたちは楽しい一日を過ごし、満足した様子で帰途につきました。ジャンボリーの開催にあたっては、甲南大学カウンセリングセンターが中心になって支援を行いました。子どもと学生ボランティア双方の成長を、行政・児童館・地域・大学がしっかりと支え、今後のネットワークも築けたジャンボリーとなりました。

新司法試験に5名合格

9月21日(木)、新司法試験の結果が公表されました。本学法科大学院では、2004年に入学した20名中18名が受験し、5名が合格しました。

なお、本学2004年入学の1期既修者は20名。うち、1名が都合により退学し、1名は昨年度旧司法試験に合格して現在修習中です。結果としては、20名中、現段階で法曹の道に入ることになった方は6名となりました。

第140回現代講座開催



9月30日(土)、142号講義室にて、自治会中央委員会現代講座実施委員会と広報部が共催する第140回現代講座を開催しました。講師は舞の海秀平氏、テーマは「決してあきらめない」。舞の海氏は、高校や大学時代の相撲部での出来事、母親に猛反対されながらも大相撲入りを決意したきっかけ、新弟子検査に合格するための作戦とし

てシリコン手術を行ったことや、関取になり曙に勝ったエピソードなど、テーマに沿った内容を中心に講演されました。講演終了後、四股名の由来、引退を決意したきっかけ、ドラマ出演でのエピソードなど多くの質問があり、講演者と参加者約300名が一体となったなかなか講演会となりました。

のじぎく兵庫国体出場選手 の結果報告会を実施

10月24日(火)、特別会議室において、のじぎく兵庫国体に在学生出場選手の結果報告会が行われました。出場選手の戦績の報告のあと、杉村学長より慰労の言葉がかけられました。

「競技成績」

- アーチエリート 山本 諒(文学部1年)「兵庫県代表」
- 体育会アーチエリート部所属
- 成年男子団体3位 成年男子個人30位
- ゴルフ 後藤太志(経営学部2年)「兵庫県代表」
- 体育会ゴルフ部所属
- 成年男子団体9位タイ 成年男子個人62位
- 馬術 野島 梓(法学部3年)「兵庫県代表」
- 体育会馬術部所属
- 成年女子トップスコア3位(銅メダル)
- 成年女子2段階障害飛越13位
- 武田麗子(文学部4年)「大阪府代表」
- 成年女子標準障害飛越16位
- 成年女子2段階障害飛越2位(銀メダル)
- 丸山舞子(文学部3年)「鹿児島県代表」
- 体育会陸上競技部所属
- 成年女子共通4×100mリレー9位
- 少林寺拳法 体育会少林寺拳法部6名
- 小林亮太(経済学部3年)
- 陸上 赤岩元美(文学部3年)「福井県代表」
- 体育会陸上競技部所属
- 成年女子100m8位
- 成年女子共通4×100mリレー7位
- ホッケー 岡田侑士(経営学部3年)「兵庫県代表」
- 体育会ホッケー部所属
- 成年男子4位

日本拳法 体育会日本拳法部10名 少林寺拳法・日本拳法はデモンストラ ション競技です。

留学協定を締結

甲南大学は、甲南プロGRESS・プロジェクトの一環として、2007年度から始まる留学プログラムの派遣先大学として、カナダのダグラス・カレッジとイギリスのバース・スバ大学との間で協定を締結しました。

10月25日(水)には、ダグラス・カレッジの Jensen 副学長と細井忠俊国際教育センター長が来学され、杉村学長とともに「甲南大学とダグラス・カレッジとの間における研究および教育面での交換に関する協定書」に調印しました。



ダグラス・カレッジへの留学は1年間3学期制で、最初の学期では基礎的な英語力を強化。2学期には大学学部課程で勉強するために必要なスキルを身につけ、3学期目には学部の専門科目を履修することを目標としています。

バース・スバ大学への留学では①フアンデーションコースで6ヵ月勉強するプログラム、②半年間の英語総合コース+半年間のUCRS(外国人留学生のための学部コース)または半年間のフアンデーションコースで1年間勉強するプログラムの2種類があります。

甲南大学にて 「数学・理科甲子園2006」 を開催

講演会が行われました。約200名の参加者があり、田嶋氏はヒッ

子の上的ことだけでなく、ユース世代チームの強化指導者養成さらに制度の改革、地方協会と連携、FIFA AFCとの連携強化など様々なことを行いながら日本代表を強化し、2005年宣言に基づいて10年後の世界トップ10入り、2050年にはW杯開催そして優勝という大きな目標に向けて前進する日本サッカー協会の考え方について熱く語り参加者の喝采を浴びました。

平成18年度文化会表彰式 を開催

11月11日(土)、本学講堂兼体育館において、「数学・理科甲子園2006」(兵庫県教育委員会主催が開催され、兵庫県内の高校から30校50チームが出場しました。数学、理科、科学技術等に関する問題が出題され、チーム全員で考え解決し、プレゼンテーションにより論理的に説明する等で実力を競い合いました。優勝は県立大学付属高校チーム。甲南高校チームも出場しましたが、惜しくも途中敗退となりました。

甲南大学にて 「数学・理科甲子園2006」 を開催

11月11日(土)、142号講義室にて、講堂兼体育館において、平成18年度文化会表彰式が行われました。受賞団体は次のとおりです。

- 学長杯 文化会JAZZ研究会
- 理事長杯 文化会書道部甲墨会
- 父母の会会長杯 文化会吹奏楽部
- 同窓会会長杯 文化会古美術研究会
- 学生部長杯 文化会児童福祉研究会

杉本直己先端生命工学 研究所長・理工学部教授が 兵庫県科学賞を受賞

先端生命工学研究所長の杉本直己理工学部教授が、平成18年度兵庫県科学賞を受賞しました。

この賞は、兵庫四賞(文化賞、科学賞、スポーツ賞、社会賞)の一つで、県民文化の高揚、科学技術の向上、スポーツの振興および明るい地域社会づくりに貢献された個人・団体の方々に対し贈られるものです。受賞理由は「生命の根幹を成す核酸の高次構造予測に関する研究を通じ、目的に応じた機能性核酸の設計が可能なることを世界に先駆け明らかにするなど科学技術の向上に尽くしたこと」です。

贈呈式は、11月20日(月)、神戸市中央区の兵庫県公館で行われました。

甲南学園関係者4名が 秋の叙勲・褒章を受章

11月3日付けで、2006年度の秋の叙勲・褒章受章者が発表され、石井一二氏(1955年甲南高等学校、1959年経済学部卒業、元参議院農林水産委員長)が旭日重光章を、一色貞輝氏(1959年経済学部卒業、元宝塚市長)が旭日中綬章を、持田担名誉教授(元文学部教授が瑞宝小綬章を、若林邦昌氏(1958年経済学部卒業、元県漬物事業協同組合理事長)が旭日双光章を受章されました。

日本プロゴルフ協会の
プロテストに吉田泰典さんと
岩元洋祐さんの2名が合格

9月5日～8日、太平洋クラブ六甲コースにおいて、2006PGA資格認定プロテスト(主催:社団法人日本プロゴルフ協会)の最終プロテスト(参加人数137名)が行われ、本学卒業生の吉田泰典さん(2005年経営学部卒)、岩元洋祐さん(2006年文学部卒)の2名が、初めての受験でめでたく合格し、見事、難関を突破しました。なお、「プレ予選」から「1次予選」「2次予選」を経て、「最終プロテスト」までには延べ1,800名が受験、最終プロテストでは52名が合格しています。

本学卒業のプロゴルファーとしては奥田靖己さん(1983年経済学部卒)以来、今後の活躍が期待されます。



東京甲南会が、
小池百合子氏の講演会を
開催

10月18日(水)、青山ダイヤモンドホールサファイアールームにおいて、東京甲南会主催で秋の講演会が開催されました。今回の講演は、内閣総理大臣補佐官(国家安全保障問題担当)小池百合子氏を講師に迎え、テーマを「環境の世紀 日本世紀」とし、約160名の甲南学園卒業生が参加しました。講演会の後の立食パーティーでは小池氏を囲み、卒業生と和やかに歓談し、楽しい講演会となりました。

今後の
予定

社会人講習会
「言語講座」(前期)

【日程】 4月28日～7月7日の毎週
土曜日(全10回)/5月5日は
実施しません
※7月14日予備日

【場 所】 6号館マルチメディア教室

【プログラム】 初級英会話(2クラス)、中級英会話(2クラス)、ドイツ語入門、ドイツ語中級、ドイツ語上級、フランス語入門、フランス語会話、中級フランス語会話、上級、中国語会話初級、中国語会話中級、中国語会話上級、韓国語入門者(2クラス)、韓国語既習者、韓国語上達者、ドイツ語入門中級上級クラス
【受講料】 15,000円(英語・ドイツ語・韓国語・フランス語・25,000円)フランス語会話・中級上級
*消費税含む。テキスト代は含まない。

【対象】 社会人および学生(高校生以上)

【定 員】 各クラス約20名

【申込期間】 4月2日(月)～11日(水)
消印有効
先着順(受付初日に定員を超えた場合は抽選する。但し、ドイツ語クラスに関しては、継続の受講者の方を優先させていただきます。ご了承ください。

【申込方法】 往復ハガキに○○○クラス申込書と書き、住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を、また返信ハガキに受講票送付先住所を明記して甲南大学国際言語文化センター事務局へお申し込みください。

【問い合わせ先】 国際言語文化センター事務局
TEL 078-435-2326

春期公開講座
「みちかな司法」国民の期待に
応える司法制度とは

【日 程】 5月12日～6月16日の毎週
土曜日(全6回)
10時～11時30分

【場 所】 5号館1階511講義室
(予定)

【定 員】 200名(一般社会人)

【受講料】 3,000円(6回分、テキスト
等資料代、消費税含む)
【申込期間】 4月9日(月)～18日(水)(予定)
【申込方法】 往復ハガキ消印有効・
ホームページ
(http://www.konan-u.ac.jp)

【講 師】 甲南大学法学部
黒田忠史教授ほか

【問い合わせ先】 甲南学園広報部
TEL 078-435-2314

2007年度
**オール甲南
の集い**
2007年
5月27日(日)
に開催!

詳しい内容等については、次号の甲南Today
(2007年4月発行予定)やホームページにてお知らせいたします。
ご家族、ご友人とお誘い合わせて、ご参加ください

お問い合わせ先: 甲南学園広報部 TEL.078-435-2314
http://www.konan-u.ac.jp

キャリアアセンタースケジュール
2006年度

3年次対象

企業研究セミナー

11月27日(月)～2007年1月15日(月)に実施するセミナーに続いて、2月2日(金)からABCDEFセミナーを、2月19日(月)から合同セミナーを行います。このセミナーは就職活動を行ううえで大変重要なセミナーです。民間企業への就職を希望する学生は、1社でも多く参加してください。

ABCDEFセミナー

●2/2(金)～2/16(金)
(土曜日・日曜日・祝日を除く)
Aセミナー 9時30分～10時30分
Bセミナー 11時00分～12時00分
Cセミナー 13時30分～14時30分
Dセミナー 15時00分～16時00分

合同セミナー

●2/19(月)～2/27(火)
ブース形式で午前・午後ともに約10社お招きするので、一日に多くの採用担当の方とお話しすることができます。

企業研究講座 in TOKYO

●2/12(月・祝)～13(火)(1泊2日)
首都圏を積極的に甲南大生を採用する予定の企業を招き、合同セミナーを実施します。初日は、学習院、成城、成蹊、武蔵大学の学生とのグループディスカッションや東京で活躍する卒業生との交流会を行い、2日目に合同企業セミナーを行います。就職活動を関西の地元に限らないで、ぜひとも参加してください。

【会場】国立オリンピック記念青少年総合センター(渋谷)
【定 員】50名
【選 考】一次選考(履歴書と成績証明書)、二次選考(面接)
【説明会】1月10日(水)16時30分
521講義室

2007年度

1・2年次対象

進路発見ガイダンス

●4/16(月)
★★Life is beautiful★★
●4/23(月)
★★Work is beautiful★★

将来何になりたいか考えたことがありますか? 「進路発見ガイダンス」で、「なりたい自分」を一緒に探してみよう! 学生生活の送り方と仕事とつなげるポイントから進路を考えます。
【時間】16時30分～17時30分

キャリアアップ講座総合案内

●4/6(金)、10(火)
資格取得やスキルアップを考えているけれど、何をすれば良いかわからないと思う学生のためガイダンスです。それぞれの業界で役立つ資格や、社会で求められるスキルがどのようなものかわかりやすく説明します。
【時間】12時20分～12時55分

インターシップガイダンス

●4/12(木)、13(金)
夏休みを利用してインターシップに参加してみようと考えている学生を対象に登録方法やスケジュールについての説明を行います。
【時間】12時20分～12時55分

ボランティアガイダンス

●4/11(水)、17(火)
夏休みを利用してボランティアに参加してみようと考えている学生を対象に登録方法やスケジュールについての説明を行います。
【時間】12時20分～12時55分

3年次対象

第1回就職ガイダンス

●5/9(水)～15(火)
就職を始めるにあたっての心構え、就職活動の流れ、今後の行事予定など、就職活動全般についての説明を行います。

卒業生に
負けない、
自分の生き方
を見つけよう。

イベントスケジュール
Event Schedule

- 12月
 - 授業一旦終了(25日)
 - 冬期休業(26日～1月5日)
 - 授業再開(6日)
 - 2006年度講義終了(15日)
 - 後期試験(16日～30日)
 - 大学入試センター試験(20・21日)
- 1月
 - 入学試験E日程(1日)
 - 入学試験A日程(2・3・5・7日)
 - 入学試験S日程(4日)
 - 父母の会課外活動表彰式(中旬)
 - 文化会リーダーズキャンプ(下旬)
 - 修士課程「2次募集」入学試験、博士後期課程(人文科学研究科・社会科学研究科)入学試験、法科大学院「後期募集」入学試験(既修者・未修者)、会計大学院「AO(前期募集)」入学試験(24日)
 - 博士後期課程(人間科学専攻)口頭試験・自然科学研究科「入学試験、法科大学院「後期募集」入学試験(既修者・会計大学院)一般後期募集」入学試験(25日)
- 2月
 - 入学試験B日程(5日)
 - 2006年度卒業生・修了者発表(5日)
 - 2006年度卒業証書・学位記授与式(24日)
 - 成績・受講関係書類配付および在学確認証交付(23・4年次・大学院) (26・27日)
 - 甲南21クリエイティブ・プラン応募締切(31日)
- 3月
 - 2007年度入学宣誓式、父母の会新入会員歓迎会(2日)
 - 2007年度講義開始(5日)
 - 履修登録受付(11日～17日)
 - 対学習院大学運動競技総合定期戦開会式(21日)
- 4月
 - 甲南キャン(初旬)
 - 甲南大学教育懇談会・父母の会総会(19日)
 - オール甲南の集い(27日)
- 5月
 - 甲南キャン(初旬)
 - 甲南大学教育懇談会・父母の会総会(19日)
 - オール甲南の集い(27日)

甲南大学の教員と
卒業生が執筆した
**新刊
レビュー**

樹をみつめて
中井 透著
[1952年甲南高等学校卒]
みすず書房
¥2,800(税別)

本多静六 一日一話
池田 光編
[1975年甲南高等学校卒
1979年文学部卒]
PHP研究所 ¥1,100(税別)

価値創造のマネジメント
中井 透著
[1978年甲南高等学校卒
1982年理学部卒]
文真堂 ¥2,700(税別)

就職活動で
へこんだら読む本
重田剛志著
[1995年経営学部卒]
交友印刷
¥1,260(税別)

三角縁神獣鏡と
邪馬台国
碓井 洸著
[甲南学園職員]
交友印刷
¥3,810(税別)

当選者発表
甲南真珠飾り付き
ボールペン
[甲南Today No.25]
プレゼントに応募いただき、
ありがとうございました。
厳正なる抽選の結果、
3名の方が当選されました。
川端潤一郎さん('74卒)
岩淵 清さん('87卒)
末藤智也さん('05卒)



アンケート PRESENT
甲南大学
ラグールカード
[甲南Today]表紙絵でお馴染みの卒業生
西井義晃さん('61年経済卒)が描く甲南
学園のキャンパス風景のラグールカード
(1000円)を5名様プレゼントいたします。
ご希望の方は、同封のアンケートハガキ
にてお申し込みください。
[応募締切]2月10日到着分まで

転居等の住所変更または、新住居
表示による住所変更の有る方は同
封のアンケートハガキ、又は下記ま
でご連絡をお願いいたします。
【広報部】
TEL:078-435-2314(直)
FAX:078-435-2546

次号は2007年4月発行予定
甲南Today No.26
発行日/2006年12月27日
発行/甲南学園広報部
〒658-8501
神戸市東灘区岡本8丁目9-1
TEL 078-431-4341(代)
印刷/大日本印刷株式会社